



# Weekly 第46号

## 個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。今週号は平成30年2月19日(月)~2月25日(月)までのニュースです。前号(第45号)で掲載できないニュースを追補しました。詳細は厚生労働省のHP等で確認してください。

### ■社会福祉士の養成 実習・演習を重視へ(2月15日追補)

社会保障審議会福祉部会の福祉人材確保専門委員会は、厚労省が示した社会福祉士と介護福祉士の養成指針見直しなどを議論した。厚労省案は社会福祉士については実習・演習の時間を増やして地域ニーズの多様化などに対応できるようにする(32年度導入)。介護福祉士養成カリキュラム改正案では「地域共生社会」や「チームマネジメント」を追加する(31年度導入)。

### ■新高齢社会対策大綱案を了承 介護離職ゼロなど目標設定(2月16日)

政府の高齢社会対策会議は、新しい「高齢社会対策」の大綱案を了承した。全世代が意欲や能力に応じて力を発揮できる「エイジレス社会」を目指す。2020年代初頭までに介護離職者数を解消、健康寿命を20年に1歳、25年に2歳延伸する一などの数値目標を設定した。大綱は5年後ごとに見直される。

### ■外国人介護労働者の受入れ拡大 安倍首相が表明(2月20日)

政府の経済財政諮問会議が開かれ、安倍首相は外国人労働者の受け入れを拡大する方針を表明した。6月にまとめる「骨太の方針」に盛り込む。入管法を改正して在留資格を緩和するなどして介護、農業、建設、サービスなどの分野の労働力不足を補う。

### ■入所者17人が負傷 京都の特養で虐待?(2月20日)

京都府宮津市の特養「安寿の里」で入所者17人に骨折や傷痕などが見つかり、府は「不適切な介護は虐待に当たる」として業務改善を勧告した。刑事告発の動きもある。

### ■「人生最後の治療方針」改訂へ 介護施設も対象(2月23日)

「人生の最終段階における医療の普及・啓発に在り方に関する検討会」は、厚労省が示したガイドラインの改訂案を大筋で了承した。改訂案(30年改訂予定)は医師が終末期を迎えている患者や家族と繰り返して話し合って医療方針を決めるACP(アドバンス・ケア・プランニング)を実践することが大きな柱。対象を介護施設などのケアまで広げる。厚労省の調査によると、医師の66%がACPを実践しておらず、66.6%が「(ACPの実践を)検討していない」と答え、普及と啓発が大きな課題になっている。